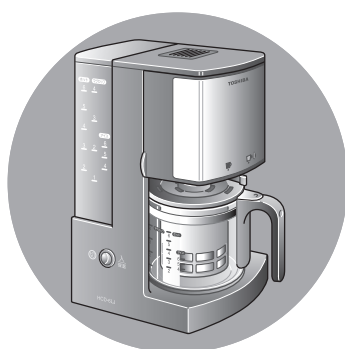
TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝コーヒーメーカー 家庭用

取扱説明書

形 名

HCD-6MJ

保証書付

保証書はこの取扱説明書の16ページについていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝コーヒーメーカーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

●商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害、財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊１：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁 止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指 示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注 意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止

改造はしない また修理技術者以外の人は、分解したり修理を行わない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

接触禁止

蒸気口や浄水フィルターに触ったり、顔などを近づけない
やけどの原因になります。

コンセントを単独で使う

定格 15A 以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用して使用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

使用禁止

コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。

無理な扱い禁止

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしない
火災・感電の原因になります。

禁 止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの原因になります。

禁 止

ボトル（ガラス容器）なしで使わない
やけどをすることがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。

交流100Vのコンセントを使う

電源は交流 100V 専用コンセントを、使用する
火災・感電の原因になります。

奥まで差し込む

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

⚠注意

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁 止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない
やけど・火災の原因になります。

禁 止

抽出中にボトル（ガラス容器）をはずさない
やけどの原因になります。

禁 止

ボトル（ガラス容器）をのせたまま、本体を動かさない
やけどやけがの原因になります。

禁 止

熱い保温板の上にコードをのせない
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。

接触禁止

使用中や使用後しばらくは保温板、ドリッパー、浄水フィルターなどに触れない
やけどの原因になります。

禁 止

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

冷えてから行う

お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの原因になります。

禁 止

抽出直後、すぐにタンクに水を入れない
ヒーターが熱くなっているため、湯口から熱湯・蒸気が出て、やけどの原因になります。

お願い

ボトル（ガラス容器）を直接火にかけたり、電子レンジで加熱したり、傷つけたり、硬いものにぶつけないでください
破損する原因になります。割れや欠けが発生したら、すぐに交換してください。

タンクの中に水以外のものを入れないでください（湯、牛乳、コーヒー、アルカリイオン水など）
故障や、ふきこぼれの原因になります。

本体にふきんなどをかぶせないでください
本体の上にふきんなどをかぶせると、本体の変形の原因になります。

タンク内に熱湯を入れないでください
故障・変形の原因になります。

各部のなまえとはたらき

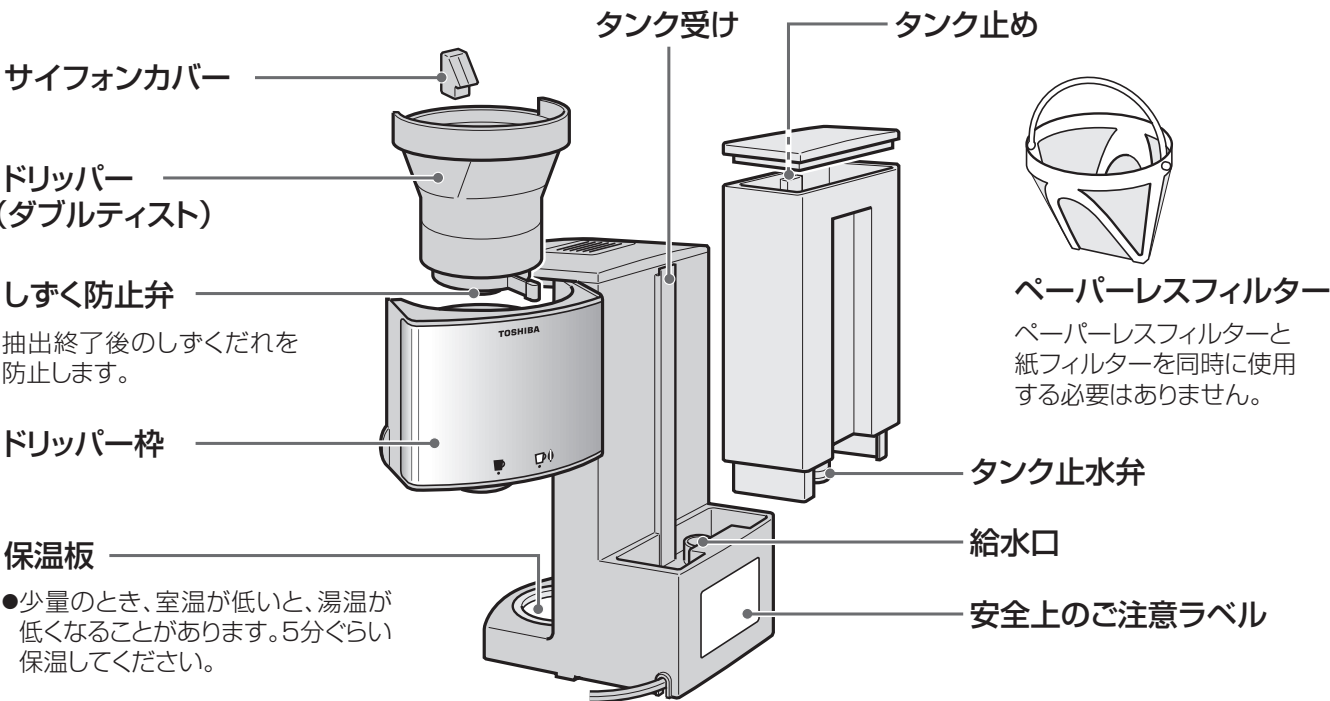
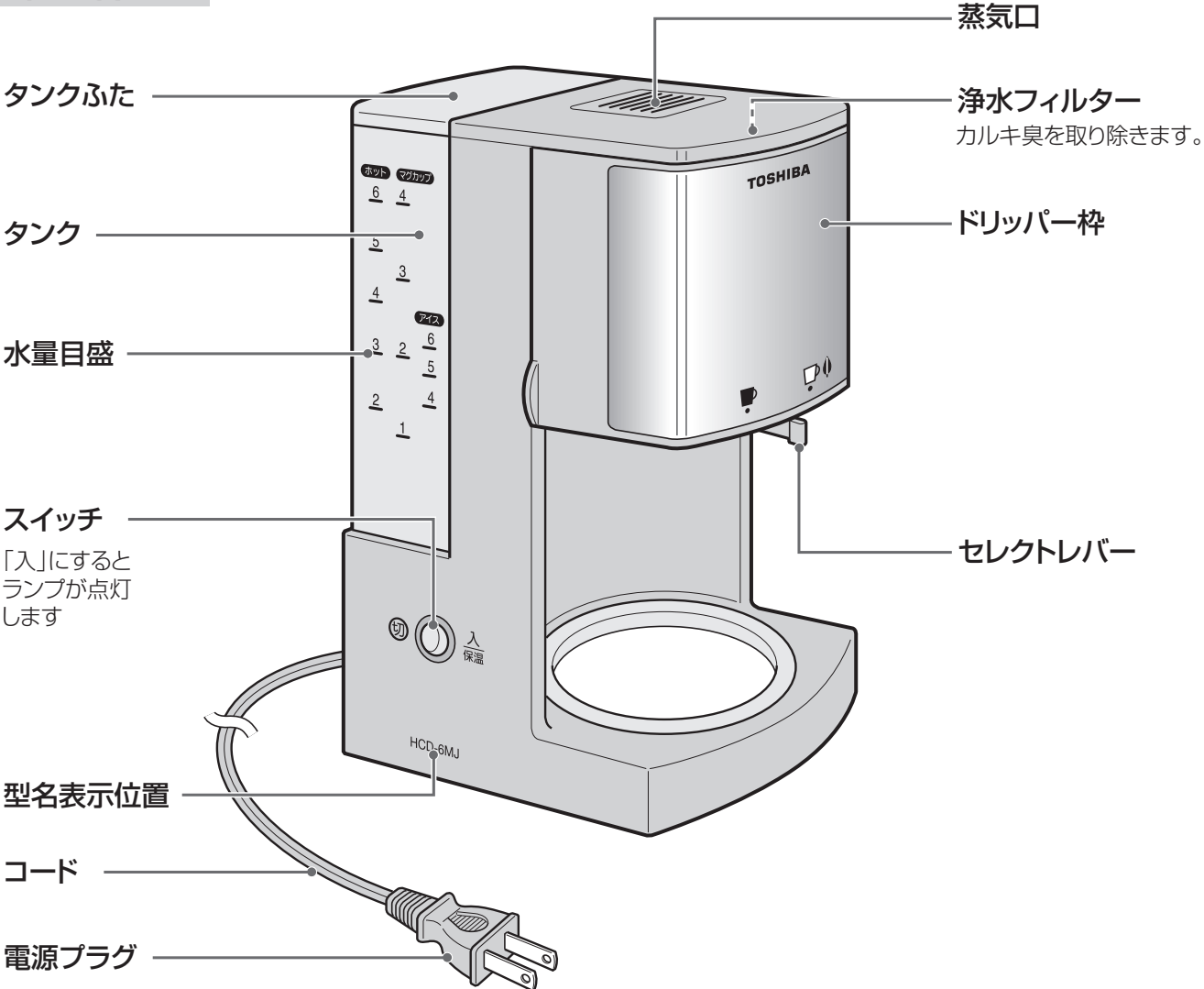
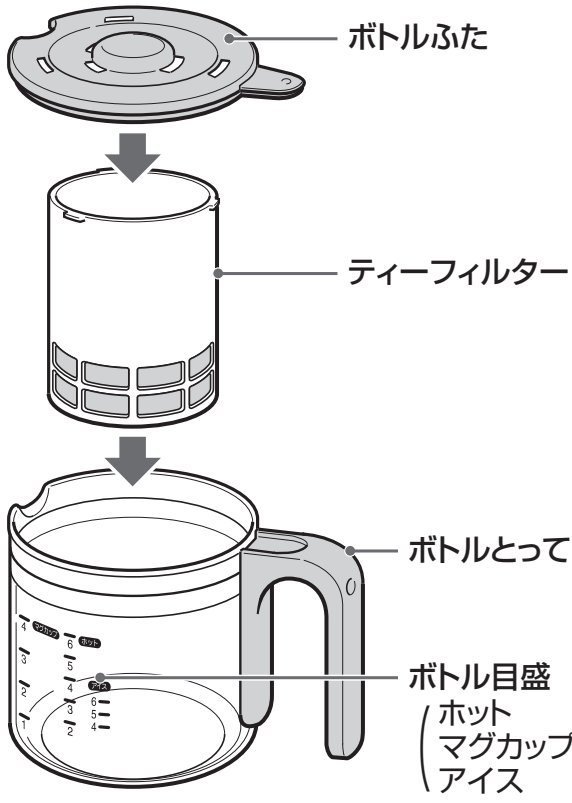
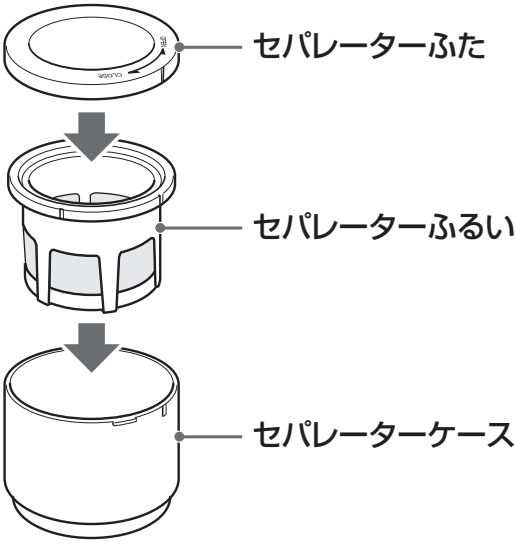
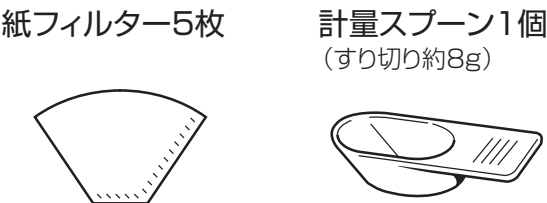
本　体

ボトル

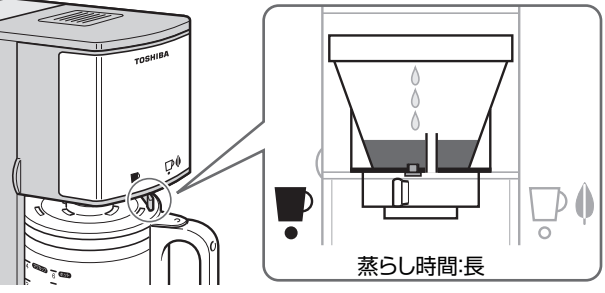
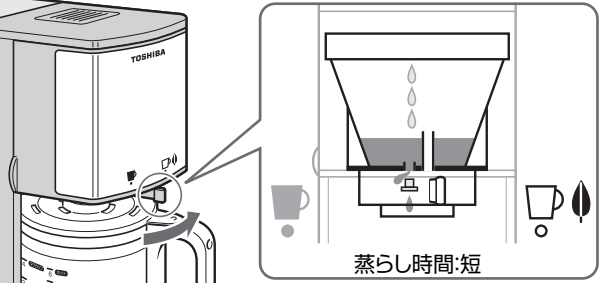
セパレーター

付属品

紙フィルター5枚

計量スプーン1個
（すり切り約8g）

ダブルテイストドリップについて

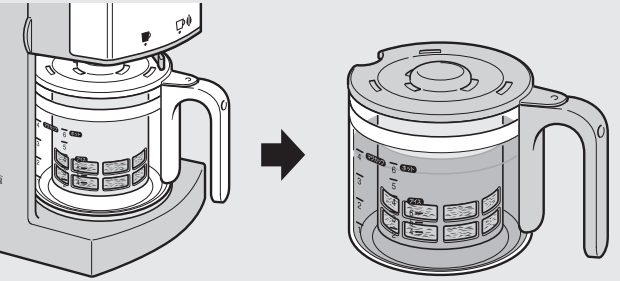
蒸らし時間の長い短いをセレクトレバーで選択します。

（左）を選ぶと蒸らし時間が長くなり、コクと深みのあるコーヒーを抽出できます。

（右）を選ぶとすっきり軽い味わいのライトなコーヒーを抽出できます。

●サイフォンカバーを必ずセットしてください。サイフォンカバーがないと、ダブルテイストドリップができません。

ティーフィルターについて

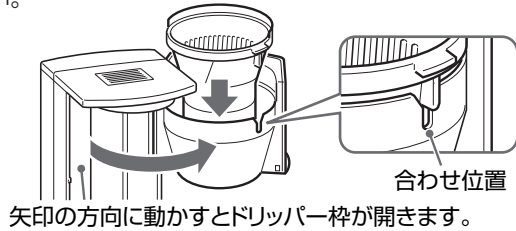
浄水した熱湯を、直接茶葉に注ぎ、ティーポットのようにお湯をたっぷりためて、茶葉を開かせます。紅茶や中国茶、ハーブティーなど熱湯で入れるものがお勧めです。

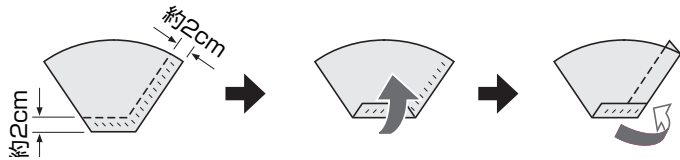
正しい使いかた（コーヒー）

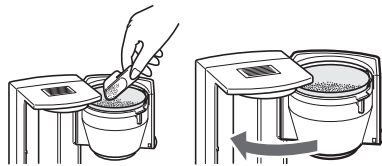
初めてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは水だけで１～２回ドリップしてください。
このとき、ボトル内に黒い粉が混じることがあります。浄水用の活性炭ですが無害であり、
使用上差しつかえありません。

ドリッパーとタンクの準備

1 ドリッパーをドリッパー枠にセットする

●ドリッパーにサイフォンカバーがセットされていることを確認してください。

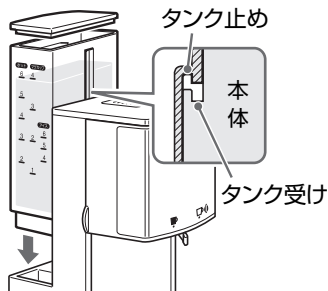
矢印の方向に動かすとドリッパー枠が開きます。

2 紙フィルター（またはペーパーレスフィルター）をセットする

●紙フィルターの端を図のようにミシン目にそって折り、ドリッパーに合うようにはめ込みます。

3 コーヒーの粉を入れ、ドリッパー枠をセットする

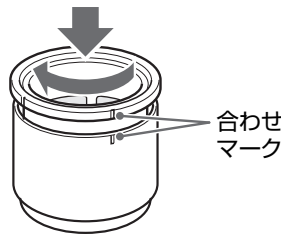
●コーヒー粉はかたまりをほぐして均一に入れます。
●お好みにより、セパレーターでコーヒー粉の微粉を取ります。

4 お好みのドリップ（　・　）を選ぶ

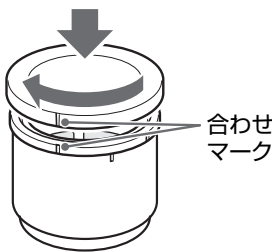
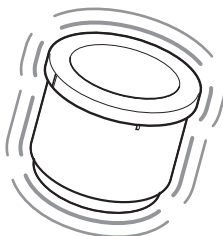
●セレクトレバーをお好みで左右どちらかに合わせます。

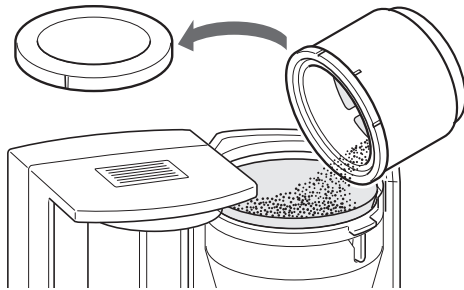
5 タンクに水を入れ、本体にセットし、タンクふたをかぶせる

●タンク受けとタンク止めを図のようにセットし、根元まで入れます。
●タンク目盛りの６カップを越える水は入れないでください。

●ペーパーレスフィルターでコーヒーを抽出すると、コーヒー粉が混じることがあります。気になるときは、紙フィルターを使用して抽出してください。

セパレーターの使いかた

1 セパレーターふるいをセパレーターケースの合わせマークに合わせて、矢印方向に回してセットする

2 コーヒー粉を入れる

3 セパレーターふたをセパレーターふるいの合わせマークに合わせて、矢印方向に回してセットする

4 約10秒間、セパレーターを振る

5 セパレーターふたをはずして、ふるいの中のコーヒー粉を製品にセットした紙フィルター（またはペーパーレスフィルター）に入れる

●コーヒー粉を入れるときは、セパレーターふるいがセパレーターケースにセットされていることを確認してください。

6 セパレーターふるいをはずして、微粉を捨てる

コーヒー粉の標準使用量とでき上がり時間

●コーヒーは紙フィルター用中びき粉を使用してください。

ホットのとき

カップ数	コーヒー粉の量（計量スプーンすり切り）	できあがり時間（室温、水温約20℃）
2カップ	2杯（約16g）	約3分
3カップ	3杯（約24g）	約4分
4カップ	4杯（約32g）	約5分
5カップ	5杯（約40g）	約6分
6カップ	6杯（約48g）	約7分

マグカップのとき

カップ数	コーヒー粉の量（計量スプーンすり切り）	できあがり時間（室温、水温約20℃）
1カップ	2杯（約16g）	約2分
2カップ	3杯（約24g）	約4分
3カップ	4.5杯（約36g）	約6分
4カップ	6杯（約48g）	約7分

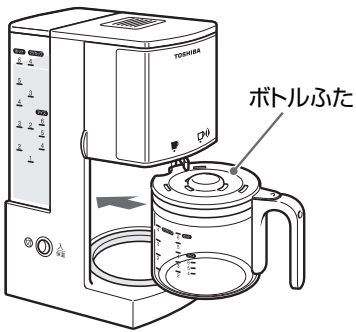
アイスのとき

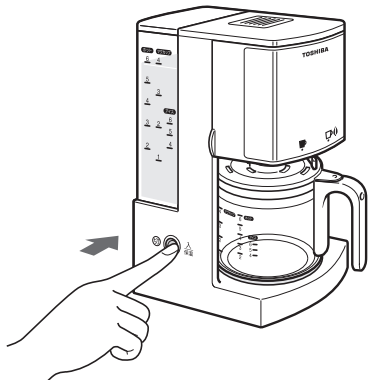
カップ数	コーヒー粉の量（計量スプーンすり切り）	水量（タンク目盛）
4カップ	4杯（約32g）	4カップ分
5カップ	5杯（約40g）	5カップ分
6カップ	6杯（約48g）	6カップ分

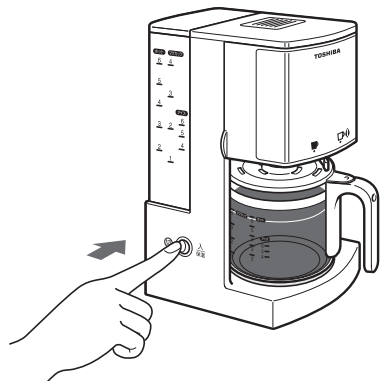
※アイスコーヒーは４カップから作れます。
※アイスコーヒーを作るときは必ずアイスコーヒー用の粉を使用してください。でき上がり時間は室温、水温などで変わることがあります。

コーヒーの抽出

1 ボトルにボトルふたをかぶせ、保温板の上にのせる

●ボトルふたは必ずかぶせてください。ボトルふたが無いとしずく防止弁が開かず、ドリッパーからコーヒーがあふれます。

2 電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチを入れる

●約 40 ～ 60 秒で浄水フィルターから湯が出始めます。
●抽出中は水のつぎ足しをしないでください。
●抽出中は保温板からボトルをはずさないでください。
●途中で抽出をやめるときは、スイッチを「切」にしてください。

3 抽出が終わったら、スイッチを切りコーヒーを注ぐ

●タンクの水が無くなり、強い噴射が数回続いた後、約 1 分ででき上がります。
●コーヒーがボトルに落ちなくなってからボトルをはずしてください。
●ご使用後はスイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

続けてコーヒーを作るとき

本体が冷めるまで（約 5 分間）待ち、「正しい使いかた（コーヒー）」の手順に従って作ります。

●抽出終了後すぐに水を入れると、ヒーターが熱くなっているため、浄水フィルターから蒸気が噴出します。

保温するとき

保温を続けるときは、スイッチを「入」のままにしておきます。

●長時間保温すると風味が悪くなります。早めにお召し上がりください。

コーヒー豆の種類と、お好みのティスト

種類	酸味	甘味	苦味	中性
モカ	●	●		
コロンビア	●	●		
キリマンジャロ	●			
ガテマラ	●	●		
ブラジル				●
ブルーマウンテン		●		

●コーヒーは新しいものを使用してください。
開封後はできるだけ早くお使いください。

抽出したコーヒーを使って

簡単コーヒーゼリー

材料（4 人分）

コーヒー………… 4 カップ分
粉ゼラチン……………… 10g
砂糖……………………… 30g

トッピング

クリーム・アイスクリームなど 適宜

作りかた

1 コーヒーを抽出する。
2 でき上がったコーヒーに砂糖とゼラチンを入れ、よくかき混ぜてとかす。
3 容器にうつし、冷蔵庫で冷やし固める。
4 お好みでクリームやアイスクリームをのせる。

いきなりカフェオレ

材料（4 人分）

コーヒー………… 3 カップ分
牛乳…………………… 120cc
砂糖……………………… 適宜

作りかた

1 牛乳をボトルに入れ、ボトルふたをして保温板にのせる。
2 コーヒーを抽出する。
3 タンクの水が無くなった後、全体が温まるまで約 5 分間電源を入れたまま置く。
4 軽くかき混ぜてカップに注ぎ、お好みで砂糖を加える。

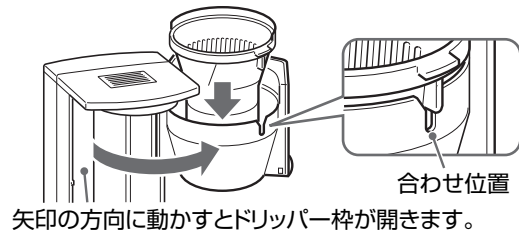
※牛乳の温度などで 5 分置いても温まりにくいことがあります。

正しい使いかた（紅茶）

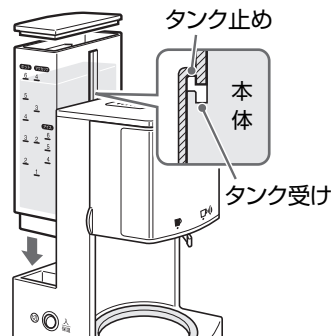
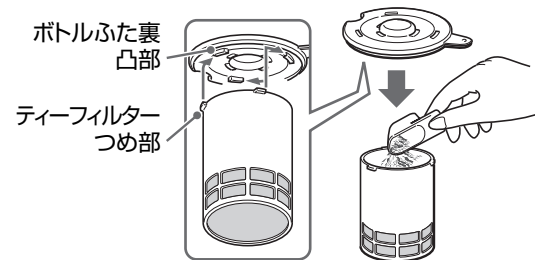
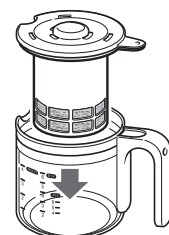
茶葉とタンクの準備

1 ドリッパーをドリッパー枠にセットする

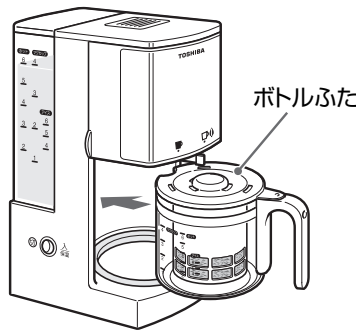
- 紙フィルターおよびペーパーレスフィルターはセットしません。
- ドリッパーをセットしないとボトルにお湯を抽出することができません。

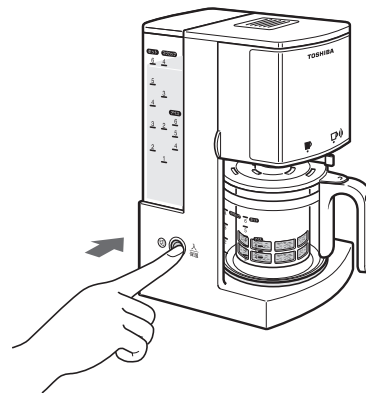
矢印の方向に動かすとドリッパー枠が開きます。

2 セレクトレバーを「 」にあわせる

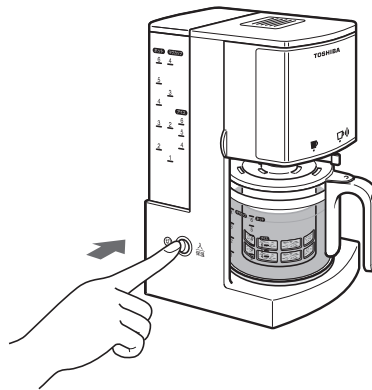
3 タンクに水を入れ、本体にセットし、タンクふたをかぶせる

- タンク受けとタンク止めを図のようにセットし、根元まで入れます。
- タンク目盛りの５カップを越える水は入れないでください。

4 ティーフィルターに茶葉を入れ、ボトルふたにティーフィルターをセットする

5 ボトルふたをセットしたティーフィルターを、ボトルにセットする

紅茶の抽出

1 ティーフィルターをセットしたボトルを保温板の上にのせる

- ボトルふたを必ずかぶせてください。ボトルふたが無いとしずく防止弁が開かず、ドリッパーから湯があふれます。

2 電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチを入れる

- 約 40 ～ 60 秒で浄水フィルターから湯が出始めます。
- 抽出中は水のつぎ足しをしないでください。
- 抽出中は保温板からボトルをはずさないでください。
- 途中で抽出をやめるときは、スイッチを「切」にしてください。

3 抽出が終わったら、スイッチを切り紅茶を注ぐ

- 湯がボトルに落ちなくなってからボトルをはずしてください。
- ティーフィルターをはずしてから注ぎます。
- ティーフィルターに茶葉を入れたままにすると、紅茶が渋くなります。
- ティーフィルターは熱くなっていますので気をつけてください。
- ご使用後はスイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

保温するとき

保温を続けるときは、スイッチを「入」のままにしておきます。

- 長時間保温すると風味が悪くなります。早めにお召し上がりください。

続けて紅茶を作るとき

本体が冷めるまで（約５分間）待ち、「正しい使いかた（紅茶）」の手順に従って作ります。

- 抽出終了後すぐに水を入れると、ヒーターが熱くなっているため、浄水フィルターから蒸気が噴出します。

紅茶の葉の標準使用量とでき上がり時間

ホットのとき

カップ数	紅茶の葉の量（計量スプーンすり切り）	できあがり時間（室温、水温約20℃）
2カップ	1杯（約6g）	約3分
3カップ	1.5杯（約9g）	約4分
4カップ	2杯（約12g）	約5分
5カップ	2.5杯（約15g）	約6分

※ティーメニューでは水タンク目盛りの５を越える水は入れないでください。ボトルからお茶があふれる場合があります。

※水タンク目盛りとボトルのでき上がり量が合わないことがあります。

※抽出が終わったらすみやかにティーフィルターをボトルからはずしてください。茶葉の種類によって渋くなることがあります。

ティーメニュー

各メニューの水量は５カップです。水量と、材料の分量を守ってください。

ロシアンティー

材料（５人分）

紅茶………… 約 15g
ジャム……………少々

作りかた

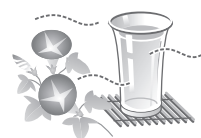
抽出した紅茶をティーカップにそそぎ、ジャムを入れる。

麦茶

材料（５人分）

麦茶………… 約 70g

作りかた

抽出後、よく冷やしてお召し上がりください。

故障かな？と思ったとき

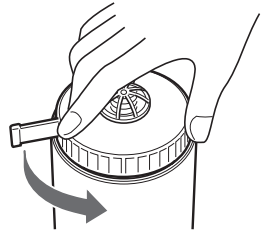
修理サービスを依頼する前に次のことをお調べください。

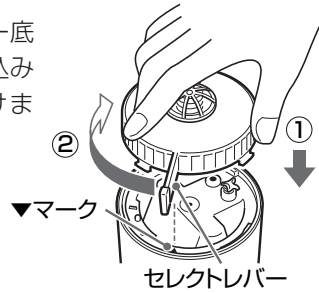
このようなとき	お調べいただくこと	処置のしかた
コーヒー・紅茶が抽出されない	●電源プラグがコンセントに差し込んでありますか。 ●スイッチが「切」になっていませんか。 ●水タンクに水は入っていますか。 ●水タンクが正しくセットされていますか。 ●コーヒーの粉が細かすぎませんか。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●スイッチを「入」にしてください。 ●タンクに水を入れてください。 ●水タンクを正しくセットしてください。（→６ページ） ●中びきで抽出してください。
コーヒーがあふれて抽出できない	●コーヒーの粉を多く入れていませんか。 ●タンク目盛りの６を超える水を入れていませんか。	●正しい分量で抽出してください。（→７ページ） ●水の分量を守ってください。
お茶がボトルからあふれる	●タンク目盛りの５を越える水を入れていませんか。	●ティーフィルターを使用する場合は水の量をタンク目盛りの５までとしてください。
抽出時間が長い、抽出量が少ない	●コーヒーの粉を多く入れていませんか。 ●ミネラルウォーターなどカルシウム分の多い水を使用していませんか。 ●水タンクにお湯を入れて使用していませんか。	●正しい分量で抽出してください。（→７ページ） ●本体内部の水パイプに水あかが溜まっている恐れがあります。 ●タンクや本体内部が変形している恐れがあります。 ※お買い上げの販売店に修理をご相談ください。

部品の取りつけかた、取りはずしかた

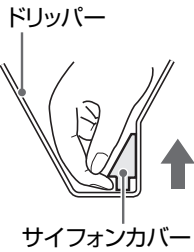
セレクトレバー

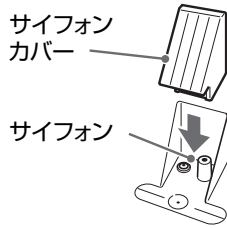
取りはずしかた

●左へ回してはずします。

取り付けかた

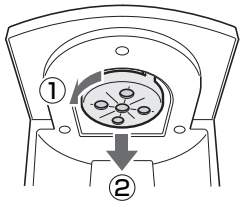
●セレクトレバーとドリッパー底面の▼マークに合せて押し込みながら右に回して取り付けます。

サイフォンカバー

取りはずしかた

●指先で上方へずらしながらはずします。

取り付けかた

●サイフォンカバーをドリッパーのサイフォンにセットします。
●矢印の方向へ奥までしっかりとセットしてください。

浄水フィルター

取りはずしかた

●浄水フィルターを矢印①の方向へ回し、②下へはずします。

取り付けかた

●本体を支え浄水フィルターのつめ部を本体凹部に入れ矢印①の方向へ押しながら矢印②の方向へ回します。

ドリッパー枠

取りはずしかた

●ドリッパー枠を矢印①の方向に回します。ドリッパー枠をはずすときは、ドリッパー枠を本体に対して直角に開いてからはずします。

●ドリッパー枠を矢印②の方向に押し上げ突起（下）を浮せ矢印③の方向へ引っ張りながらはずします。

取り付けかた

●ドリッパー枠の突起（上）を本体上穴へ差し込みます。
●上に押し上げながら突起（下）を本体下穴に合わせて差し込みます。

お手入れのしかた

⚠警告

水ぬれ禁止

本体は水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

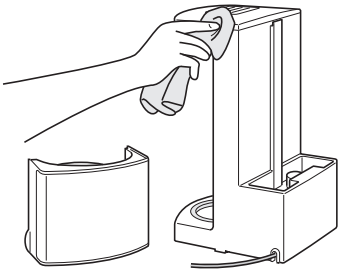
⚠注意

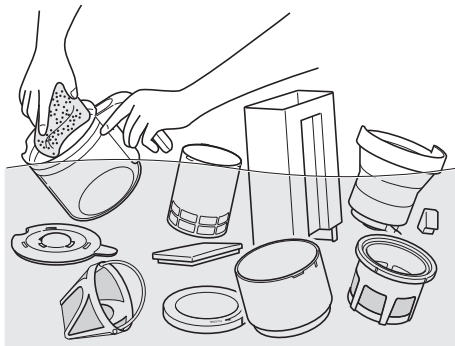
冷えてから行う

お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの原因になります。

お願い
- みがき粉やたわし、ベンジン・アルコール・シンナー、化学ぞうきん、住宅用・住宅家具用合成洗剤、カビ取り用洗剤などは使わないでください。故障や変形の原因になります。
- 本体、タンク、タンクふたは40℃以上の湯で洗わないでください。故障や変形などの原因になります。
- 本体、タンク、タンクふたは食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。故障や変形、割れの原因になります。

本体、ドリッパー枠

- 台所用中性洗剤を浸した布を固くしぼってふき、洗剤が残らないように乾いた布でふきとってください。
- 本体を保管するときは、ドリップが終わったあと２～３分、空のまま通電し本体内部の水を抜いてください。

タンク、タンクふた、ボトル、ボトルふた、ティーフィルター、ドリッパー、サイフォンカバー、セパレーター、ペーパーレスフィルター

台所用中性洗剤を入れた水またはぬるま湯で軟らかいスポンジなどで洗い、洗剤分が残らないようによくすすいでください。

浄水フィルター

月に１回程度水ですすいでください。
水質により、水あかや汚れが付くことがあります。

部品について お買い上げの販売店でお買い求めください

※ご購入の際は、本体に記載されている形名をお確かめのうえお求めください。
※ペーパーレスフィルターは消耗品です。破れたり目づまりしたときは、交換（有償）してください。

浄水フィルター（消耗部品）

部品コード	32319864

1日1回のご使用で約２年が目安です。
浄水効果が少なくなりましたら交換してください。

ボトル（ボトルとっては別売）

部品コード	32319865

破損した場合お求めください。

ペーパーレスフィルター

部品コード	32380506

ボトルとって

部品コード	32319888

仕様

電源	100V 50－60Hz 共用	外形寸法	幅 188mm ×奥行 128mm ×高さ 312mm
定格消費電力	700W	付属品	計量スプーン……１個
本体質量	1.7kg		紙フィルター……5 枚
できあがり量	２～６カップ		セパレーター……１個
温度ヒューズ	192℃・216℃		ペーパーレスフィルター……１個
コード有効長	1.2m		ティーフィルター……１個

保証とアフターサービス 必ずお読みください

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の 16 ページに記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日･販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管して下さい。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。** ただし、消耗部品は保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- このコーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後５年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、スイッチを「切」にして、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
保証書の規定に従って、販売店が修理をさせていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）　－

●長年ご使用のコーヒーメーカーの点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。	●本体が異常に熱い。 ●コードや電源プラグが異常に熱い。 ●コゲくさいにおいがする。 ●スイッチのランプが点灯中、コードを動かすとランプが消えることがある。 ●その他の異常・故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険です。絶対に分解しないでください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（　上記以外　）06-6440-4411

電話で 24時間 365日 お応えします

お買い物・お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話·PHSからのご利用は　03-3426-1048
FAX　03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝コーヒーメーカー保証書

持込修理

形名	HCD-6MJ	
★お客様	お名前	ふりがな　　様
	ご住所	〒□□□-□□□□
	電話	市外　市内　番号　呼
保証期間	本体　1年	★お買い上げ日　年　月　日から
★ご販売店	住所·店名　電話	

東芝コンシューママーケティング株式会社　家電事業部　レンジ・調理機器部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）　電話（03）3257-6163

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ　修理年月日	修理内容	担当
年　月　日		
年　月　日		

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときには、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、運送等による故障および損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
   （ト）ご使用による容器の汚れ。
   （チ）消耗部品の交換
2. 出張修理を行なった場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターへご相談ください。

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）